


【AIRC Mail Magazine】

第480号(2022年5月2日発行)

***** (一財)旭川産業創造プラザ)

■Contents:

◇(一財)旭川産業創造プラザからのお知らせ◇

1. 「あさひかわBizCafe」5/19(木)セミナー
2. 旭川食品産業支援センターセミナー
「販路拡大・販促力強化セミナー～誰もが買いたくなる動画・HP・SNSの活用方法～」
3. 旭川食品産業支援センターセミナー
「高齢者向け食品の開発～柔らか食品と健康機能食品の開発～」
4. 旭川食品産業支援センターセミナー
野菜の活用セミナー～地元の野菜を活かした商品開発!～
5. 旭川食品産業支援センターから食品試験予定日のお知らせ
6. 連載「HACCP導入、運用のコツ(49)」
旭川食品産業支援センター長 浅野 行蔵

◇関係機関からのお知らせ◇

7. 6/3締切 小規模事業者持続化補助金(一般型)
8. 6/30締切「事業再構築補助金」第6回公募開始
9. 5/31締切 第57回(令和4年度)機械振興賞受賞候補者募集
10. 12/16締切 旭川市令和4年度 販路開拓・拡大支援事業補助金
11. 12/21締切 旭川市 令和4年度 加工・販売施設整備等支援事業補助金
12. 5/31締切 令和4年度「中小企業競争力強化促進事業」

1. 「あさひかわBizCafe」5月19日のお知らせ

起業に必要な知識やノウハウを学ぶ、創業セミナー「あさひかわBizCafe」を開催します。WEB開催ですので、お手持ちのPCやスマホから参加ができます！お申し込みがまだという方、ぜひ当財団HPからお申込みください。

■日時、内容

2022年5月19日(木) 18:30から

テーマ：創業時の資金計画の立て方、資金調達の基礎知識

講師：旭川信用金庫様、日本政策金融公庫様

融資をご検討されている方はもちろんのこと、検討されていない方も「お金のプロ」から見た計画の立て方等なかなか聞くことができない貴重な内容となっております。お申し込みがまだという方は、ぜひ当財団HPからお申込みください。

■主催

(一財)旭川産業創造プラザ

■申込入力フォーム

<https://www.arc-net.or.jp/formbizcafe/>

■WEB開催について

申込者が、ご自身のPCやスマートフォンで視聴

※質問コーナー、交流会、資料配布はございませんのでご了承願います。

■対象

- ・起業準備中の方、近い将来起業を考えている方、起業間もない方、起業に関心のある方、事業承継する予定の後継者の方、第2創業、新分野進出を検討中の方。
- ・年齢、性別、国籍、職業問わずどなたでも！（高校生、大学生も可）

■お問合せ先

一般財団法人 旭川産業創造プラザ
TEL 0166-73-9210
FAX 0166-68-2828
Email bizcafe@arc-net.or.jp

■2022年度のスケジュールはこちら↓

<https://www.arc-net.or.jp/variousupport/bizcafe/>

チラシ（FAX申込書）はこちら↓よりダウンロードしてお使いください。
https://www.arc-net.or.jp/data/variousupport/bizcafe_2022_02.pdf

2. 旭川食品産業支援センターセミナー

「販路拡大・販促力強化セミナー～誰もが買いたくなる動画・HP・SNSの活用方法～」

近年、全国の消費者に商品情報をより細かく伝えるため、ホームページやSNSを活用して効果的に自社商品をPRしたり、動画を活用して効果的な宣伝を行い販路拡大につなげることが重要となっています。

今回、市内で企業プロモーションや動画配信等を数多く手がけている星野氏と、実際にこれらを活用することで実績を上げている米谷氏のお二人にホームページや動画を有効活用するためのノウハウやメリットなどをお話いただきます。

■視聴方法 YouTube配信

（申込み後、URLをメールで送付します。）

■講師

HADAKA DENKYU 代表 星野 智哉 氏
（株）米谷産業 代表取締役社長 米谷 慈洋 氏（旭川食品加工協議会会長）

■チラシ

<https://www.arc-net.or.jp/wpb/wp-content/uploads/2022/05/%EF%BC%93seminar.pdf>

■お問合せ・お申込み

旭川食品産業支援センター（旭川産業創造プラザ内）
TEL：（0166）68-2824
FAX：（0166）68-2828
E-mail：fosup@arc-net.or.jp

3. 旭川食品産業支援センターセミナー

「高齢者向け食品の開発～柔らか食品と健康機能食品の開発～」

手軽に食品にプラスできる栄養豊富な食品の紹介と最近注目の赤ビートについてのお話です。

加齢とともに食事量が減少するとサルコペニア（筋肉量減少）やフレイル（虚弱）の原因となりやすく、その為、効率の良い栄養補給が必要となる事から市場ニーズは拡大しています。

今回は、タンパク質や脂肪の栄養価についても解説。赤ビートの基礎研究や健康機能性についてのお話から、高付加価値な商品開発を考える時のヒントになれば

と思います。

■視聴方法 YouTube配信
(申込み後、URLをメールで送付します。)

■講師
藤女子大学 名誉教授・農学博士 知地 英征 氏
(農林水産省 産学連携支援コーディネーター等)
～プロフィール～
知地先生は、これまで食品成分の生体内機能性の評価と吸収動態を研究されており、北海道内の食品関連企業との共同研究を通じて、食品の機能性や加工特性についての高度な技術と知見を蓄積しております。大学をご退職後も研究を続けられており、知的好奇心旺盛な、まさに「研究者」です。

■チラシ
<https://www.arc-net.or.jp/wpb/wp-content/uploads/2022/03/chirasisyoku.pdf>

■お問合せ・お申込み
旭川食品産業支援センター（旭川産業創造プラザ内）
TEL：(0166) 68-2824
FAX：(0166) 68-2828
E-mail：fosup@arc-net.or.jp

4. 旭川食品産業支援センターセミナー 野菜の活用セミナー ～地元の野菜を活かした商品開発！～

現在旭川市近郊で栽培されている野菜をうまく活かしていますか？
食材の特徴を把握したうえで、長所を活かした加工を施せば、更にその価値が高まります。
また、特徴的な野菜も、一次加工を施すことで使いやすくなり、「定番の野菜」となる可能性もあります。
地元野菜を使った商品開発のヒントになる、「知って得する」情報満載です！

■視聴方法 YouTube配信
(申込み後、URLをメールで送付します。)
■講師 上川農業試験場技術普及室
主任普及指導員(農業革新支援専門員)
高田 勲 様
(野菜ソムリエPro 野菜ソムリエ養成講座講師)

■チラシダウンロードページ
<https://www.arc-net.or.jp/wpb/wp-content/uploads/2022/03/3%E3%80%80.pdf>

■お問い合わせ・お申し込み
連絡先：旭川食品産業支援センター（旭川産業創造プラザ 内）
TEL：(0166) 68-2824 FAX：(0166) 68-2828
E-mail：fosup@arc-net.or.jp

5. 旭川食品産業支援センターセミナー 「見えないもの見える化する 食の安全管理のポイント」

安全で安心な商品を提供するために、微生物などの基本的な知識や簡易的に行うことができる検査方法を知り、安全性を向上させるためのノウハウや情報を習得しませんか？

■視聴方法

YouTube配信(申込み後、URLをメールで送付します。)

■講師

第1部

- 1) 安全な食品を提供するための微生物の知識
講師：旭川食品産業支援センター センター長 浅野 行蔵
- 2) 食物アレルギーの簡易検査の簡易検査の紹介と活用事例
講師：株式会社森永生科学研究所

第2部

- 1) 簡易的な食品微生物検査の紹介とそれぞれの感性
講師：関東化学株式会社
- 2) ATP検査の基本的な知識と活用方法
講師：キッコーマンバイオケミファ株式会社

■チラシ

<https://www.arc-net.or.jp/wpb/wp-content/uploads/2022/03/4.pdf>

■お問い合わせ・お申し込み

連絡先：旭川食品産業支援センター（旭川産業創造プラザ 内）
TEL：(0166)68-2824 FAX：(0166)68-2828
E-mail：fosup@arc-net.or.jp

6. 旭川食品産業支援センターから食品試験予定日のお知らせ

今月の食品試験予定日は

5月16日(月)、23日(月)、30日(月)です。

利用される場合は、必ず事前にご連絡ください。

<注意点>

- 1、当センターの試験は、自主試験を代行するものであり、公的証明を行うものではありません。
公的証明書をご希望の方は、旭川市保健所等の検査機関をご利用ください。
- 2、試験の受託範囲は、旭川市、鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町の1市8町に所在する食品事業者様が製造・販売する商品(加工食品)となります。

連絡先：旭川食品産業支援センター（旭川産業創造プラザ 内）
電話 0166-68-2824

7. 連載「HACCP導入、運用のコツ(49)」

旭川食品産業支援センター長 浅野 行蔵

「『食品等事業者団体が作成した業種別手引書※1』は、見ないほうが良いと答えています」

50名以下の小規模の食品関連企業は、手引書を参考にして食品の安全管理を進めることが推奨されています。ところが、このたくさんの手引書たち、出来もバラバラでHACCPを理解している人が書いているとは思えないものも多いのです。手引書たちのHPの表記に公表日と改定日が書かれているものも多いのは、各方面からの欠陥指摘で改訂されたのです、が改訂後も依然として問題を抱えています。厚労省の目的は、第一に自社業務に近い同業者の危害を学んで欲しい、というまっとうな意識です。手引書を見るならここだけ見ることをお勧めします。

著者として本当に参考にして欲しいのは、リーフレット

『ご存じですか？HACCP』※2が第一です。センターでは、HACCP導入および運用のお困り質問も歓迎です。HPの問い合わせから質問をお寄せ下さい。

※1 食品等事業者団体が作成した業種別手引書

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000179028_00003.html

※2 リーフレット『ご存じですか？HACCP』

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161543.html>

8. 6/3締切 小規模事業者持続化補助金（一般型）

■事業概要

小規模事業者および一定要件を満たす特定非営利活動法人（以下「小規模事業者等」といいます。）が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等）等に対応するため、小規模事業者等が取り組む販路開拓等の取組の経費の一部を補助することにより、地域の雇用や産業を支える小規模事業者等の生産性向上と持続的発展を図ることを目的とします。

本補助金事業は、小規模事業者自らが作成した持続的な経営に向けた経営計画に基づき、地道な販路開拓等の取組（例：新たな市場への参入に向けた売り方の工夫や新たな顧客層の獲得に向けた商品の改良・開発等）や、地道な販路開拓等と併せて行う業務効率化の取組を支援するため、それに要する経費の一部を補助するものです。

■募集内容

対象者：小規模事業者

補助額：上限50～200万円

補助率：2/3 ※2補助対象：チラシ作成、広告掲載、店舗改装など

■申請受付開始

2022年3月29日（火）

■公募期間

第8回受付締切：2022年6月3日（金） [郵送：締切日当日消印有効]

■公募要領

全国商工会連合会 https://www.shokokai.or.jp/jizokuka_r1h/

日本商工会議所 <https://r3.jizokukahojokin.info/index.html>

9. 6/30締切「事業再構築補助金」第6回公募開始

■※電子申請にあたっては、GビズIDの取得が必要です。

新分野展開や業態転換、事業・業種転換等の取組、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等を目指す企業・団体等の新たな挑戦を支援する「事業再構築補助金」の第6回公募が開始されました。

■HP ↓

<https://jigyousaikouchiku.jp/>

※申請には、「GビズIDプライムアカウント」の取得が必要です。

取得未了の方は、あらかじめGビズIDプライムアカウント取得手続きを行ってください。 <https://gbiz-id.go.jp/top/>

■事業再構築の指針の手引き（重要）
https://jigyousaikouchiku.go.jp/pdf/shishin_tebiki.pdf

■【公募期間】
公募開始：令和4年3月28日（月）
申請受付：令和4年5月下旬～6月上旬予定
応募締切：令和4年6月30日（木）18：00

■主要申請要件 補助額等
6次公募は、5次公募から変更点がおおくあります。
くわしくは公募要領をご確認ください。
<https://jigyousaikouchiku.go.jp/pdf/koubo006.pdf>

■補助金額 [通常枠]
中小企業者等、中堅企業等ともに
【従業員数20人以下】100万円～2,000万円
【従業員数21～50人】100万円～4,000万円
【従業員数51人～100人】100万円～6,000万円

■補助率 [通常枠]
中小企業者等 2/3（6,000万円を超える部分は1/2）
中堅企業等 1/2（4,000万円を超える部分は1/3）

10. 5/31締切 第57回（令和4年度）機械振興賞受賞候補者募集

一般財団法人 機械振興協会（会長 釜 和明）は、優れた開発や実用化、開発の支援活動を通じて、わが国の機械産業技術の発展に著しく寄与した企業・大学・研究機関・支援機関（以下「企業等」という）と開発・支援担当を表彰しており、令和4年度 第57回機械振興賞の受賞候補者を次の要領で募集します。

■応募期間令和4年4月1日（金）～5月31日（火）

■募集チラシ
<http://www.jspmi.or.jp/tri/prize/boshu/doc/chirashi57.pdf>

■研究開発
独創性、革新性および経済性に優れた機械産業技術に関わる研究開発およびその成果の実用化により、新製品の製造、製品の品質・性能の改善、または生産の合理化に顕著な業績をあげたと認められる企業等および研究開発担当者となります。ただし、当該研究開発は、おおむね過去3年以内に完成したものに限りません。

■支援活動
支援実績、支援効果及び継続性に優れた支援事業により、機械産業技術に関わる中小企業が優れた成果を上げたとき認められる場合に、支援をした支援機関等及び支援担当者（一支援活動につき複数の支援担当者及び事情により当該企業等に属さない者も含む。）となります。ただし、当該支援事業は、2年以上継続し、今後も継続が予定されているものに限りません。

■お問い合わせ先
<http://www.jspmi.or.jp/tri/prize/boshu/index.html>
担当部署：企画管理室 担当者：畠山 実
TEL：042-475-1168 FAX：042-474-1980
e-mail：prize@tri.jspmi.or.jp

11. 12/16締切 旭川市令和4年度 販路開拓・拡大支援事業補助金

■募集事業の補助の内容

対象事業 旭川産農畜産物等の主に市外への販路開拓・拡大のために実施する次の事業

- (1) 展示会, 物産展, 商談会等に参加する事業 (オンライン形態を含む)
- (2) イベント等を開催する事業

■対象経費 市場調査費, PR資材費, 旅費・宿泊費, 機器・会場借上料, 出展負担金 (固定の費用のみ対象), 農畜産物検査料, 各種運搬料, その他補助事業の実施にあたり市長が特に認める経費

■補助率等 事業費の50%以内
農業者 (個人, 法人) は上限10万円以内
団体及び農業協同組合は上限20万円以内

■事業期間
令和5年2月28日までに完了する事業

■応募方法
申請書に必要書類を添付し, 担当 (下記) まで持参又は郵送にて提出してください。

■※ 申請書様式は旭川市ホームページ (事業者向け→ 農・商・工業→農業と地域のために) からダウンロードできます。

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/500/501/504/d074202.html>

■募集 (受付) 期間
令和4年4月20日 (水) から12月16日 (金) まで (土・日・祝日を除く)
ただし, 締め日 (5月以降の毎月第3金曜日) ごとに審査, 交付 (不交付) 決定を行い, 予算がなくなった時点で受付を終了します。

■担当・問い合わせ先
〒070-8541旭川市上常盤町1丁目 水道局庁舎4階
旭川市 農政部 農業振興課 園芸係
TEL 0166-25-7438/FAX 0166-26-8624

12. 12/21締切 旭川市 令和4年度 加工・販売施設整備等支援事業補助金

旭川市では農業の6次産業化を支援しています

募集事業の区分及び補助の内容

(1) 加工・販売施設等整備事業 (新型コロナウイルス感染症対策)

■対象事業

- 1) 農畜産物加工施設や加工機器, 農畜産物販売施設を新規に整備する事業
- 2) 処理能力・品質向上のために行う施設改良及び機器類を更新する事業
- 3) 衛生対策のために行う施設改修及び機器類を更新する事業
- 4) 直売所の経営安定化のために行う施設改修及び機器類を整備する事業

■対象経費 施設設計費, 施設建設費・付帯工事費, 資材購入費, 機器, 設備取得費,

■経営診断費

補助率等 事業費の50%以内, 上限200万円以内。 (予算の範囲内)

(2) 商品開発事業（新型コロナウイルス感染症対策）

■対象事業 新商品開発，新商品の市場開拓

■対象経費

試作原材料費，機械装置・加工施設等の借上料，外注加工費，
パッケージデザイン料，検査分析費，市場調査研究費，広告宣伝費展示会等出展費

■補助率等 事業費の50%以内，上限10万円以内。（予算の範囲内）

■事業期間

令和5年2月28日までに完了する事業

■応募方法

申請書に必要書類を添付し，担当（下記）まで持参又は郵送にて提出してください。

※ 申請書様式は旭川市ホームページ（事業者向け→農・商・工業→農業と
地域のために）からダウンロードできます。

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/500/501/504/d063618.html>

■募集（受付）期間

令和4年4月20日（水）から12月21日（水）まで（土・日・祝日を除く）
ただし，締め日（5月以降の毎月第4水曜日※12月のみ第3水曜日）ごとに審査，
交付（不交付）決定を行い，予算がなくなった時点で受付を終了します。

■担当・問い合わせ先

〒070-8541旭川市上常盤町1丁目 水道局庁舎4階
旭川市 農政部 農業振興課 園芸係
TEL 0166-25-7438/FAX 0166-26-8624

13. 5/31締切 令和4年度「中小企業競争力強化促進事業」

北海道の「北海道経済構造の転換を図るための企業立地の促進及び中小企業の競争力の強化に関する条例」に基づき、道内の中小企業が新分野・新市場への進出に取り組むために要する経費の一部を補助する令和4年度中小企業競争力強化促進事業の募集を実施します。

- 1) マーケティング支援事業
- 2) コンサルタント等招へい支援事業
- 3) テレワーク導入支援事業（産業人材育成・確保支援事業（確保事業））
- 4) 産業人材育成支援事業（派遣）
- 5) 産業人材育成支援事業（招へい）
- 6) 市場対応型製品開発支援事業（一般）
- 7) 市場対応型製品開発支援事業（特定産業分野）
- 8) 市場対応型製品開発支援事業（共同研究開発）

■募集期間

令和4年4月27日（水）～令和4年5月31日（火）（17時必着）

■応募方法

・ご応募いただく前に、申請や経費の内容について事前にご相談ください。
・募集要項をご一読のうえ、指定された申請書類や必要な添付資料とともにご提出ください。

・必要書類は電子媒体でご提出いただくもの、紙でのご提出でも良いものの2種類があります。

詳しくは募集要項をご確認願います。

募集要項

https://www.hsc.or.jp/hsc_wp/wp-content/uploads/2022/04/2022jourei_1st_youkou2.pdf

■申請書提出先

https://www.hsc.or.jp/news/2022jyourei_1st/

(公財)北海道中小企業総合支援センター 企業振興部 助成支援G
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目経済センタービル9階
TEL:011-232-2403 FAX:011-232-2011

★ AMMコラム ★

■この冬は全道的に大雪警報、札幌では交通が滞るほどの降雪量を記録しましたが、旭川周辺は例年より少なく、朝晩の除雪も昨年より楽だった気がします。雪解けも進み、今年も自転車のシーズンがやってきました。昨年はヒグマ出没により河川敷のサイクリングロードが全面立入禁止となり、少々つまらない思いをしていました。今年はないでほしいと思いつつ、どこまで川を遡ろうかなあ…と、今からワクワクしています。

■今年のGWは移動制限もなく、うまく休みを取れば10連休となり、帰省や旅行の計画を立てていらっしゃる方も多いのでは。ワクチン接種や、人込みでのマスク着用や手洗いといった感染対策を徹底した上で、楽しみたいところです。

■さて、旭川食品産業支援センターが発信しておりますセミナー、作年度は9回開催しており、うち6回はYouTubeにて配信継続しております。製造工程の衛生環境の改善や、新商品の開発、販路拡大を考える上でのヒントが見つかるかもしれせん。興味あるテーマがありましたらぜひお申し込み下さい。詳しくはセンターホームページ「講習会・セミナー」をご覧ください。

<https://www.arc-net.or.jp/fosup/seminar/>

皆様のご参加をお待ちしております。

(NM)

※これまでいただきましたお名刺や、セミナーへの出席申し込みなどによりいただきましたE-Mailアドレスをもとにお送りしています。

#. メールマガジン配信先変更・購読中止について

●お届けするE-Mailアドレスの変更や購読解除は次のところから行ってください。

<https://www.arc-net.or.jp/arc-net/mailmagazine/formoff.html>

★☆☆★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

一般財団法人 旭川産業創造プラザ
〒078-8801 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号
旭川リサーチパーク内

Tel:0166-68-2820 Fax:0166-68-2828

H P:<https://www.arc-net.or.jp/>

E-mail:arc-net@arc-net.or.jp

★☆☆★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆